

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社うかい
 コード番号 7621 URL <http://www.ukai.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大工原 正伸
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 潮 一生
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日 配当支払開始予定日 平成25年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

TEL 042-666-3333

平成25年12月6日

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	5,977	3.8	222	23.5	194	52.3	93	76.7
25年3月期第2四半期	5,759	1.4	180	△42.0	127	△49.5	52	△58.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	19.43	19.36
25年3月期第2四半期	10.72	10.68

(注) 1株当たり四半期純利益金額を算定するための普通株式の期中平均株式数について、「従業員持株ESOP信託」が所有する当社株式の数を控除しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	11,358	3,363	29.3
25年3月期	11,874	4,033	33.7

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 3,328百万円 25年3月期 3,998百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
26年3月期	—	2.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,964	2.4	469	23.5	363	70.6	317	85.2	67.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	5,229,940 株	25年3月期	5,229,940 株
26年3月期2Q	652,150 株	25年3月期	293,156 株
26年3月期2Q	4,800,116 株	25年3月期2Q	4,923,650 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、金融政策や経済政策の効果の発現により、株価の上昇や円安による輸出環境の改善、設備投資の増加など、景気回復の兆しが見えてきておりますが、欧州財政問題やアメリカの政策動向による影響など、海外経済の下振れ懸念は依然として存在しており、先行きは不透明な状況となっております。

外食産業におきましても、消費マインドが改善し、一部で消費の回復が見られるものの、物価上昇・消費税の増税・電力などのエネルギーコストの上昇などの不安材料により、生活防衛意識や節約志向が依然として強く、不透明な状況で推移しております。

このような経営環境の中、未来への成長を見据え、3つの成長方針、『人に優しい店づくり～既存店の強化～』『うかいの余韻をご家庭に～新商品開発～』『商圈1万キロ～新市場開拓～』を掲げ、まずは当期を「計画の年」として各施策に取り組んでおります。

既存店の強化の取り組みとしては、お客様の利便性を考慮し、店舗の一部バリアフリー化などを継続して実行しております。また将来を担う人材の確保と育成も引き続き推進しております。

新商品開発の取り組みとしては、平成25年7月に製菓工房の一部に、うかいグループによる初めての洋菓子店「アトリエうかい」をオープンいたしました。

新市場開拓の取り組みとしては、同年5月に御盟晶英酒店股份有限公司との間で、台湾高雄市に同社が建設するF I Hリージェントグループ「高雄晶英酒店」内のレストランのコンサルティング契約を締結し、うかい海外初出店の準備を進めております。また同年9月には、うかいの新業態となる(仮称)「銀座kappou ukai」を、東京都中央区銀座に新規出店することを決定し、来年4月のオープンに向け、新しい世界観をお楽しみいただける店づくりを着実に進めております。

当第2四半期累計期間の業績面につきましては、売上高5,977百万円(前年同四半期比3.8%増)の増収となりました。利益面に関しては、営業利益222百万円(同23.5%増)、経常利益194百万円(同52.3%増)、四半期純利益93百万円(同76.7%増)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

〔飲食事業〕

飲食事業では、戻りつつあるお客様に対し、いつ来ても満足し、また新たな発見をしていただけるよう、歴史のあるうかい鳥山の蛸狩りやあざみ野うかい亭の薔薇の回廊、ワインなど飲料にまつわるフェア、季節の食材を使った特別料理などを展開し、来店機会の増加を図ってまいりました。

和食事業は、首都圏中央連絡自動車道の高尾山インターチェンジが開通したことにより、うかい鳥山・うかい竹亭の商圈が広がり、集客が図れたことが大きく寄与し、売上高2,841百万円(同2.7%増)となりました。

洋食事業は、全店舗で来客数が増加し、なかでも都心店の銀座うかい亭、表参道うかい亭、グリルうかい丸の内店が好調に推移したことにより、売上高2,522百万円(同8.3%増)となりました。

この結果、飲食事業としては売上高5,363百万円(同5.2%増)となりました。

〔文化事業〕

文化事業では、「2013年特別企画展～モザイク美の世界～」を4月より開催し、多くのお客様にご来館いただけるようプロモーションの強化を行ってまいりましたが、来館者数の減少により、売上高613百万円(同7.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ516百万円減少し、11,358百万円となりました。主な要因は現金及び預金の減少222百万円、売掛金の減少72百万円、商品の増加15百万円、有形固定資産の減少180百万円、敷金・保証金の増加22百万円、繰延税金資産の減少77百万円等によるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ154百万円増加し、7,995百万円となりました。主な要因は、有利子負債の増加342百万円、未払金の減少107百万円、買掛金の減少29百万円、未払費用の減少22百万円、未払法人税等の減少21百万円等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ670百万円減少し、3,363百万円となりました。主な要因は四半期純利益93百万円、剰余金の配当による減少59百万円、自己株式取得による減少723百万円等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ222百万円減少し337百万円(前年同四半期比53.3%減)となりました。

当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は345百万円(同4.9%減)となりました。主な要因は、税引前四半期純利益190百万円、減価償却費の計上253百万円、売上債権の減少72百万円等があった一方で、未払金の減少67百万円、法人税等の支払い43百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は141百万円(同86.6%増)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出106百万円、敷金・保証金の差入による支出28百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は426百万円(同155.9%増)となりました。主な要因は借入の実行・返済により有利子負債が純額で357百万円増加したことによる収入に対し、自己株式取得による支出723百万円、配当金支払いによる支出58百万円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期業績につきましては、平成25年3月期決算短信公表時(平成25年5月17日付)の予想を修正しております。詳細は本日公表しました「平成26年3月期第2四半期累計期間の業績予想値との差異並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	559,850	337,005
売掛金	401,594	328,835
商品及び製品	145,139	169,001
原材料及び貯蔵品	244,071	241,630
繰延税金資産	81,527	60,987
その他	142,892	142,422
貸倒引当金	△362	△296
流動資産合計	1,574,713	1,279,586
固定資産		
有形固定資産		
建物	9,114,394	9,132,954
減価償却累計額	△4,785,320	△4,930,218
建物(純額)	4,329,074	4,202,736
土地	2,400,400	2,400,400
建設仮勘定	10,367	2,595
美術骨董品	1,078,721	1,084,174
その他	3,324,740	3,353,956
減価償却累計額	△2,523,138	△2,604,499
その他(純額)	801,601	749,457
有形固定資産合計	8,620,165	8,439,364
無形固定資産	109,554	97,254
投資その他の資産		
投資有価証券	32,707	36,064
繰延税金資産	366,645	309,911
敷金及び保証金	986,766	1,009,648
その他	184,097	186,496
投資その他の資産合計	1,570,216	1,542,120
固定資産合計	10,299,936	10,078,739
資産合計	11,874,650	11,358,325

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	272,326	242,926
1年内返済予定の長期借入金	686,000	773,600
未払法人税等	56,587	34,676
賞与引当金	95,003	97,628
その他	800,365	662,279
流動負債合計	1,910,283	1,811,111
固定負債		
長期借入金	4,676,000	4,945,400
退職給付引当金	724,477	722,260
資産除去債務	116,786	118,095
その他	413,712	398,426
固定負債合計	5,930,977	6,184,182
負債合計	7,841,260	7,995,293
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,291,007	1,291,007
資本剰余金	1,836,412	1,836,412
利益剰余金	1,400,523	1,432,719
自己株式	△538,875	△1,243,744
株主資本合計	3,989,067	3,316,394
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,631	11,945
評価・換算差額等合計	9,631	11,945
新株予約権	34,691	34,691
純資産合計	4,033,389	3,363,031
負債純資産合計	11,874,650	11,358,325

(2) 【四半期損益計算書】
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	5,759,331	5,977,014
売上原価	2,671,007	2,742,782
売上総利益	3,088,323	3,234,231
販売費及び一般管理費		
販売促進費	159,238	167,614
役員報酬	98,340	103,170
給料及び手当	979,936	1,016,485
賞与引当金繰入額	52,502	57,705
退職給付費用	27,065	34,266
福利厚生費	156,279	169,868
水道光熱費	108,364	124,728
消耗品費	93,614	92,671
修繕費	93,073	91,404
衛生費	103,235	106,597
租税公課	53,875	52,889
賃借料	347,930	350,252
減価償却費	191,058	186,699
その他	443,646	457,408
販売費及び一般管理費合計	2,908,160	3,011,764
営業利益	180,163	222,467
営業外収益		
受取利息	2,545	2,556
受取配当金	309	352
受取手数料	2,250	7,565
その他	5,799	1,631
営業外収益合計	10,904	12,105
営業外費用		
支払利息	50,717	32,526
社債利息	3,738	—
その他	8,786	7,355
営業外費用合計	63,242	39,882
経常利益	127,824	194,690
特別利益		
固定資産売却益	—	19
特別利益合計	—	19
特別損失		
固定資産除却損	7,599	3,758
特別損失合計	7,599	3,758
税引前四半期純利益	120,225	190,952
法人税、住民税及び事業税	18,937	21,446
法人税等調整額	48,493	76,231
法人税等合計	67,430	97,677
四半期純利益	52,794	93,274

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	120,225	190,952
減価償却費	263,317	253,290
固定資産除却損	7,599	3,758
退職給付引当金の増減額(△は減少)	13,521	△2,216
受取利息及び受取配当金	△2,854	△2,908
支払利息及び社債利息	54,456	32,526
売上債権の増減額(△は増加)	63,669	72,758
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,544	△21,420
仕入債務の増減額(△は減少)	△34,326	△29,400
未払消費税等の増減額(△は減少)	△10,393	9,757
その他	△46,705	△93,954
小計	423,964	413,142
利息及び配当金の受取額	347	748
利息の支払額	△46,669	△24,406
法人税等の支払額	△14,150	△43,785
営業活動によるキャッシュ・フロー	363,492	345,698
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△92,250	△106,978
その他	16,257	△34,827
投資活動によるキャッシュ・フロー	△75,993	△141,805
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△50,000	—
長期借入れによる収入	1,080,000	700,000
長期借入金の返済による支出	△1,084,391	△343,000
社債の発行による収入	197,007	—
社債の償還による支出	△247,550	—
自己株式の取得による支出	—	△723,976
配当金の支払額	△49,501	△58,941
その他	△12,301	△820
財務活動によるキャッシュ・フロー	△166,737	△426,738
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	120,761	△222,845
現金及び現金同等物の期首残高	600,210	559,850
現金及び現金同等物の四半期末残高	720,971	337,005

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期損益計算書 計上額(注)2
	飲食事業	文化事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,097,713	661,617	5,759,331	—	5,759,331
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,097,713	661,617	5,759,331	—	5,759,331
セグメント利益	534,908	86,215	621,124	△440,961	180,163

(注)1. セグメント利益の調整額△440,961千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期損益計算書 計上額(注)2
	飲食事業	文化事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,363,841	613,172	5,977,014	—	5,977,014
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,363,841	613,172	5,977,014	—	5,977,014
セグメント利益	632,289	33,847	666,137	△443,669	222,467

(注)1. セグメント利益の調整額△443,669千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、自己株式の取得について平成25年6月24日開催の第31回定時株主総会において承認可決され、また同日開催の取締役会で決議し、平成25年7月23日付で369,134株を取得いたしました。この自己株式の取得等により、当第2四半期累計期間において自己株式が704,868千円増加し、当第2四半期会計期間末において自己株式が1,243,744千円となっております。